総合的な探究の時間に関するアンケート集計結果
2020.9実施

学校図書館活用教育研究委員会

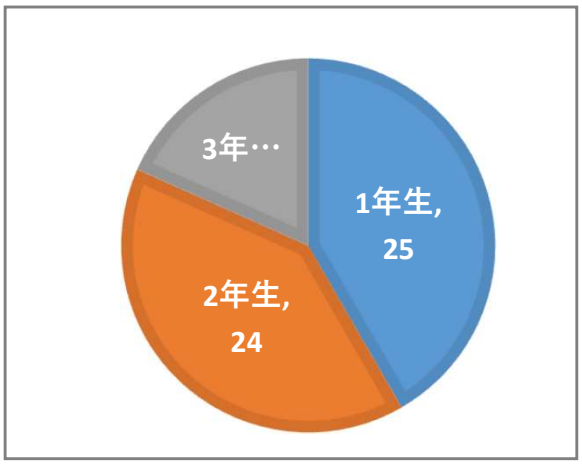
Q1　単元名やテーマ、分野など

SDG s /SDGsに基づいた持続可能な町づくりの探究	修学旅行の調べ学習/人物調べ
アンケートによる学校改善	図書館オリエンテーション
インターネット社会の光と影、大学（学校）調べ	総合的な学習(1年地域学,2年ﾃｰﾏ探究)
校内ビブリオバトル	総合的な学習の時間（新聞の読み方/課題学習①）
グローバルⅠ、Ⅱ	総合的な探究の時間（まわし読み新聞/分野別探究）
タンパク質について	あさくち山環学/高梁を創る/市工セミナー
プレゼミ、ゼミ、ディベート	地域の課題を考える/地域を学ぶ
メディアリテラシー/ＮＩＥ	地域課題発見解決学習、SDG s
岡山空襲	地域学「セトリー～Be a SETOUCHI Leader!」
課題研究/探究活動/一日総合探究	地元のハワイ移民のルーツを調べる
学部学科研究/キャリア探究	未来探究（ジャミ探）/未来航路
職業研究/進路研究	令和2年度2年生個人・グループテーマ研究

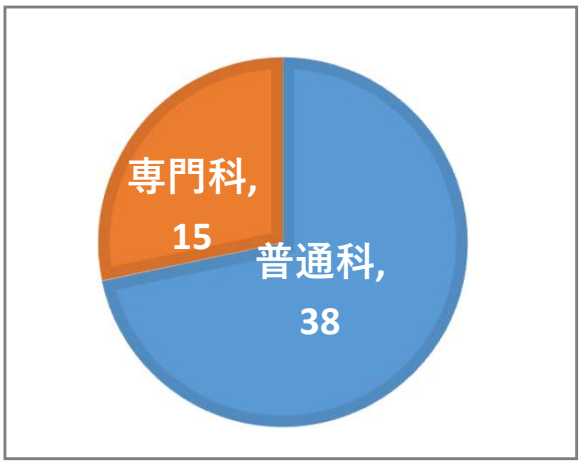
Q2　単元全体の内容について

グループごとでテーマを決めて、調査・分析・フィールドワーク、実験を行い、発表する。
問題意識を明確化させるためのデータ収集、社会的通説の把握、専門的見地の情報収集等を課題研究を行っている各グループが任意の時間に図書館を活用。
LEDｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ製作の原画を調べる。ｴﾝﾊﾞｲﾛﾒﾝﾄﾊｲｽｸｰﾙにおける資料調べ。ロボット作り。
前半は修学旅行の計画・調べ学習、後半は選択学習
興味を持っている職業について調査研究を行い、その分野の求人票を探す。
夏目漱石について授業を受け、調べ、班に分かれて新聞を作成し、発表する
新聞の読み比べ／クリティカルリーディング（新聞記事をクリティカルな視点で読み、疑問点を挙げる。その後疑問点を明らかにし、分析・検証を行う）
テーマに沿ってアタック・ディフェンスそれぞれの視点から情報収集
図書館の使い方や図書館で学習する意義を知る。本校での探究授業についての導入。
グループで、キャリアと学問について探究する
グループで倉敷美観地区に出かけ、割り当てられたテーマで観光の視点から美観地区の課題を見つけ、作成するかわら版の中で具体的解決策を提案する。

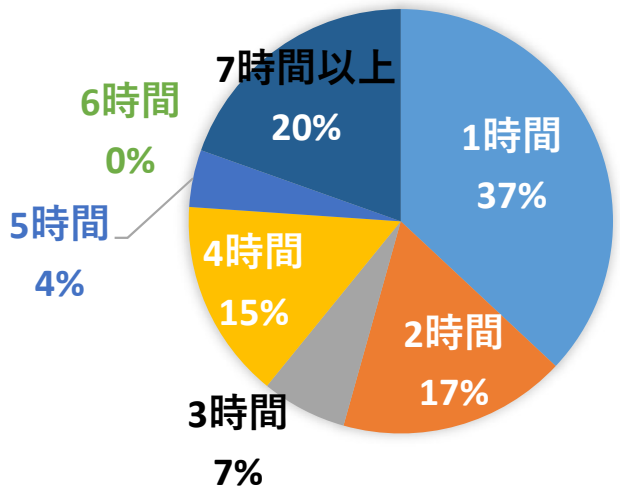
Q3　探究を行っている学年は？



Q4　探究を行っている学科は？

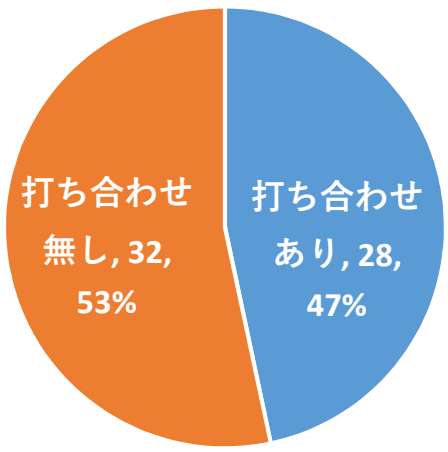


Q5　1クラスの利用時間数

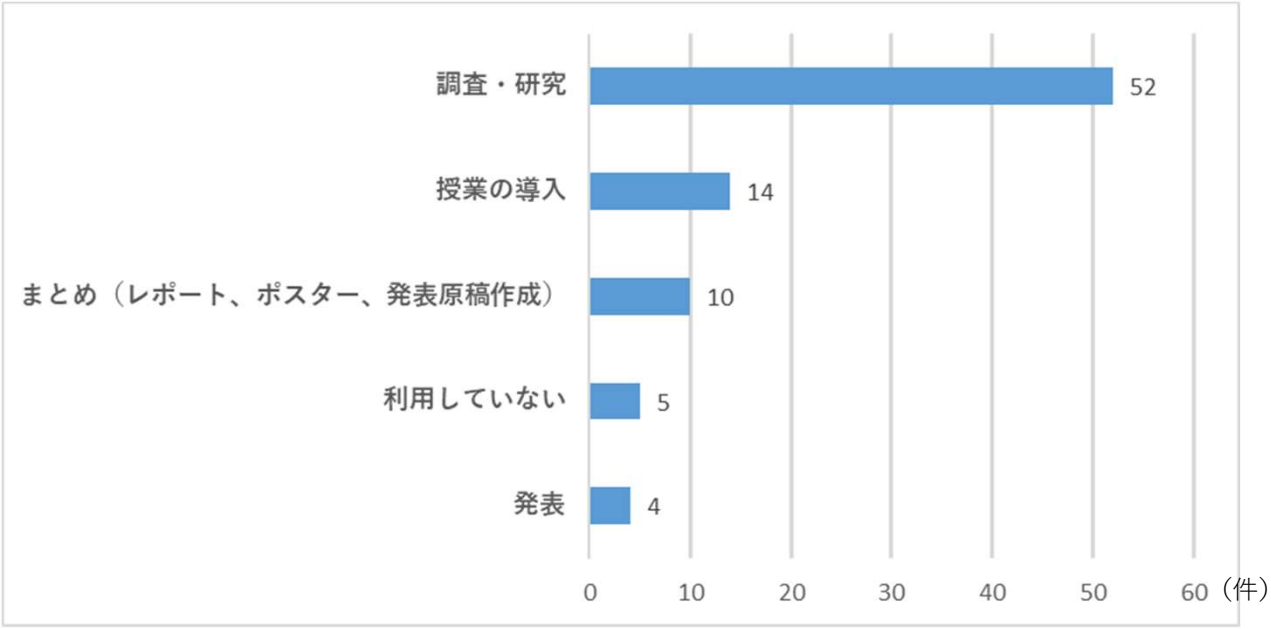


2時間以内という短時間利用が半数を占める一方で、7時間以上継続して利用するクラスが20%ある

Q6-1　単元開始前に、授業内容やねらい、準備物について授業担当者と司書・司書教諭とで打ち合わせを行いましたか？



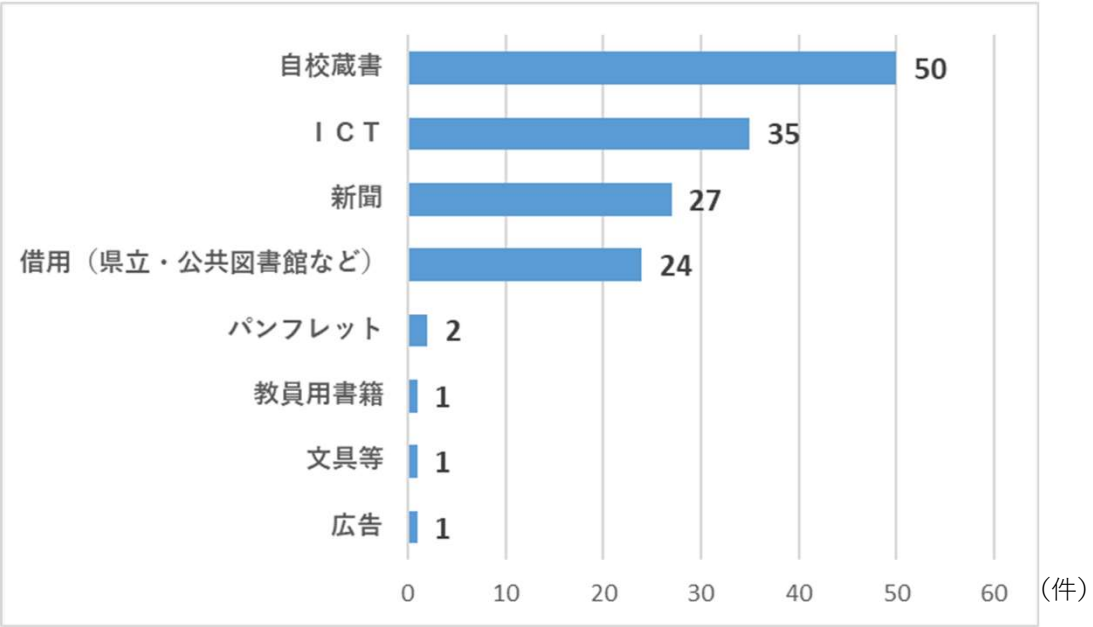
Q6-3　図書館を利用したのは授業のどの段階ですか？



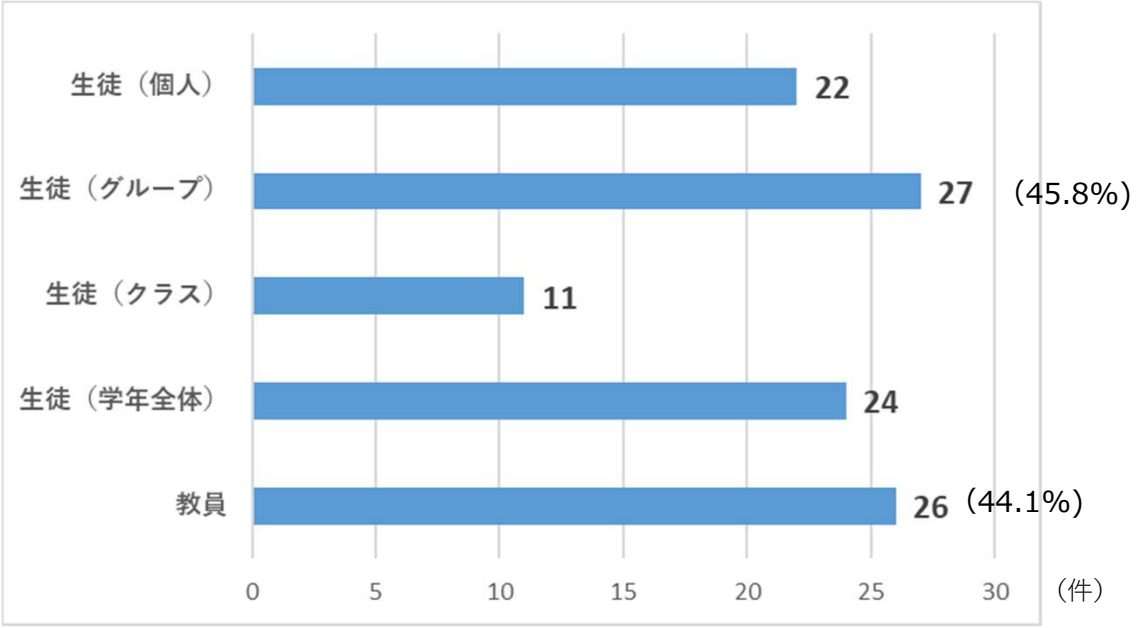
Q6-2　図書館利用のねらい（目的やつけさせたい力）について

問題意識を明確化させるためのデータ収集、社会的通説の把握、専門的見地の情報収集等
調べる力、学問的誠実性（参考文献の書き方など）
インターネット調査によるデジタル資料だけでなく、文献資料、新聞などの情報も活用させるため
現状の把握と、情報分析力の育成のため。
図書館にまずは足を運び、本を手にとること。 スマホから離れた時間を作ること。 本を読み、様々な人の考え方に触れる。
書籍を中心として複数のメディアから情報を収集し、整理し、まとめる力
資料選定力、資料を比較する力/資料を分析して課題を見つける力
課題発見力、課題解決力、資料作成力、プレゼンテーション能力の育成
調査手段の１つとして。資料の読み取り、分析の仕方などを学ぶ。
数ある図書の中から、自分の調べたいことを探し、調べることができる力。また、本を基に調べていく過程で、探していた箇所の周りの記述を読み、学習を深めていく経験をしてほしい。
教養力（幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能） 思考力（論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力）
研究を進める際に必要なスキル（情報検索や引用ルール等）の習得
情報収集、情報の整理方法、表現方法（わかりやすいかわら版の作り方）
様々な情報ツールを使って情報を入手する（特に研究内容や最新の研究についての論文検索等）
多角的な視点で物事をとらえる、信頼できる情報ツールを知る、情報ツールを使って信頼できる情報を入手する
信頼できる情報源からの情報収集、情報カードの利用
新聞記事からそれぞれのゴールに繋げる発想力
時事問題に関して理解を深める／新聞の読み方を知る
説得力のある根拠をあげる／複数の情報を調査し、整理する

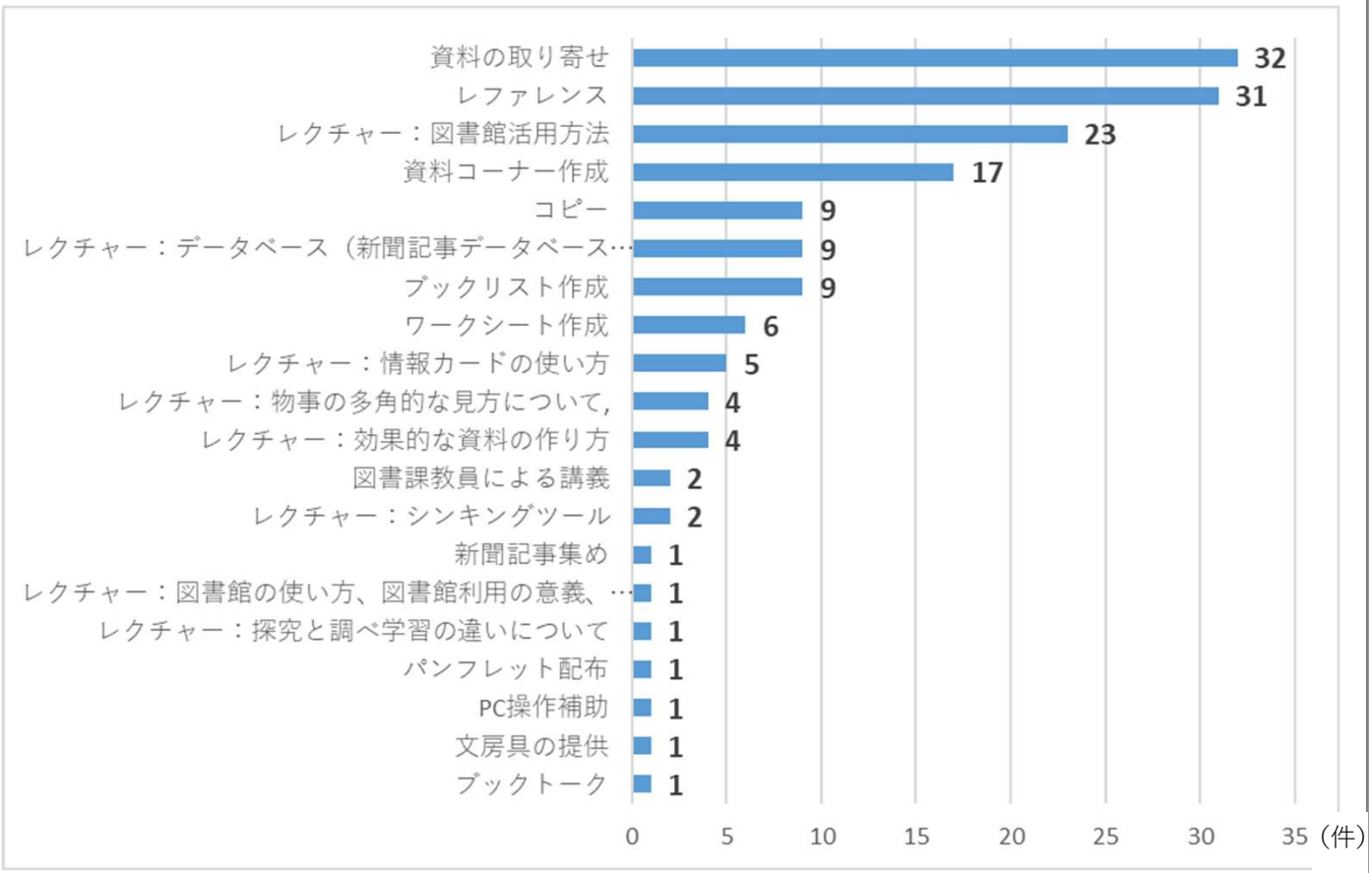
Q7　図書館のどんな資料・設備が利用されましたか？



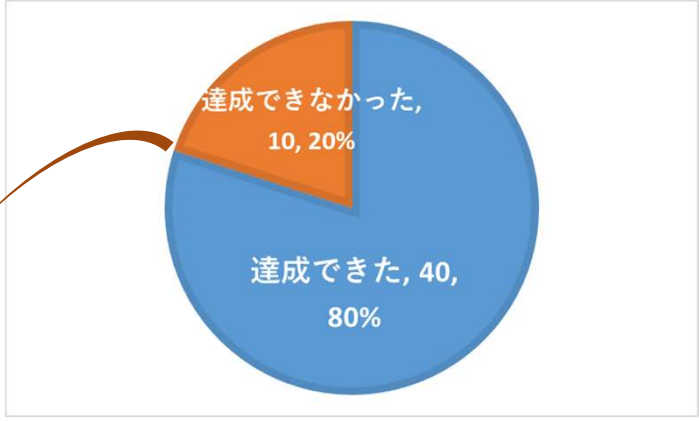
Q8　図書館による支援の対象



Q9　司書・司書教諭による支援内容をお答えください（複数回答可）



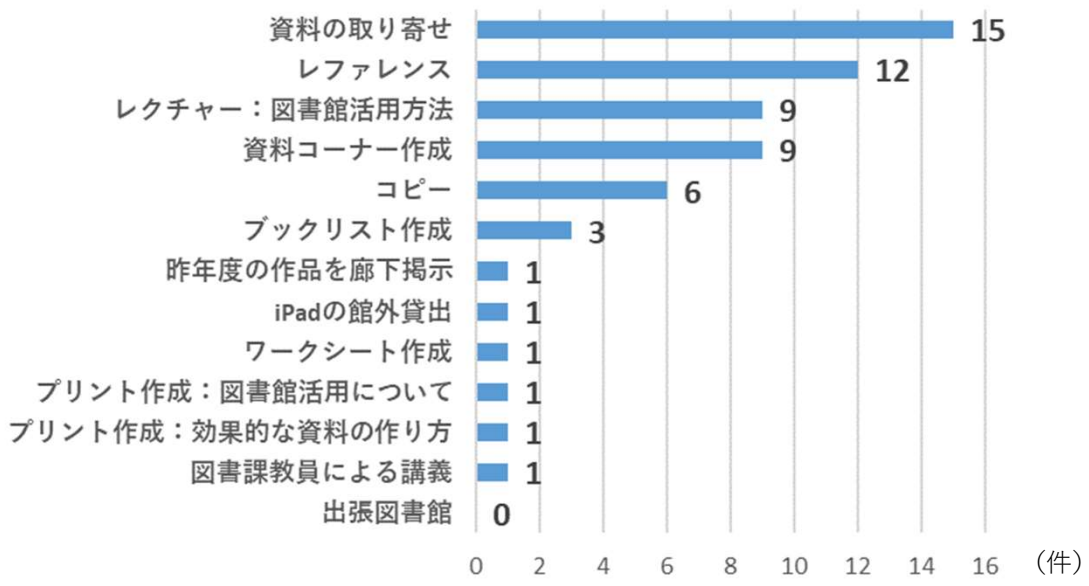
Q10-1　図書館利用のねらいは達成できましたか



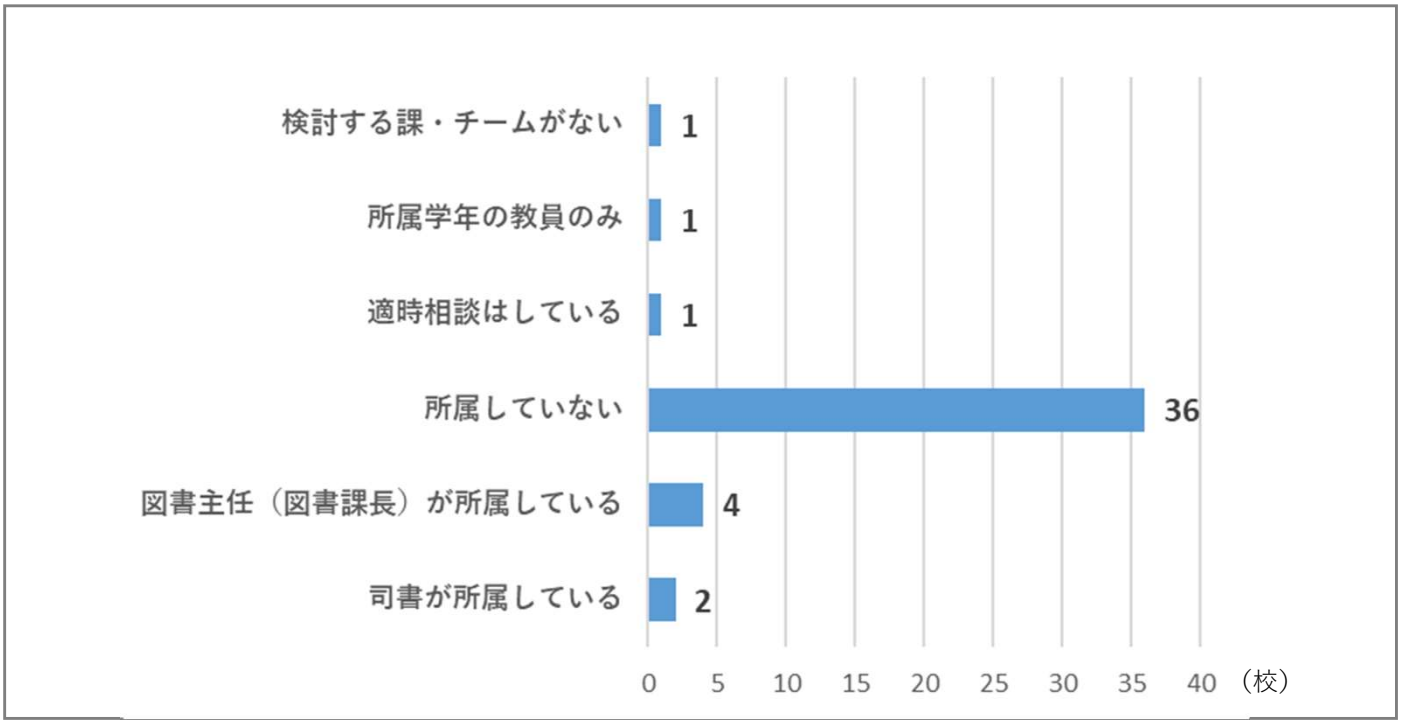
Q10-2　Q10-1でねらいを達成できなかった理由をお答えください。

当初は調べ方を司書から説明する予定だったが、密を避けるために小さい単位でしか図書館に来られず、時間が足りなくなり、説明する時間が取れなくなった。
生徒、教員ともに図書館の利用が日ごろから少なく、広報もできていないため。
「図書館案内　図書館で将来を考える」というパスファインダーを配付したが、図書館を利用して調査した生徒が少なかった。紹介したサイト等で調べた生徒がどれくらいいたかは把握できていない。同時限の設定であるため、授業で来館したのは1クラスのみ。
第一回目の学年全体の導入授業で「図書館案内　情報収集編」「調査依頼書」を配付して、説明を行ったが、生かされていない。9月時点では調査研究中であるが、県立図書館からの取寄せ依頼も数件である。サイト等でどれくらい情報収集がなされているかは把握ができていない。担当教員との連携もあまりとれていない。
数組来ているが、年度途中で全体像がつかめていない
ipadで自校の資料検索をする方法を説明したかったが、ipadが届く時期とうまく調整できなかった。
各自のipad持参できたので、ネットで調べることが中心になった。
授業計画が不十分であったため。

Q11　図書館の支援のみが利用された事例（活動は図書館外）についてお答えください



Q12　総合的な探究の時間について検討する課やチームについて



【まとめ・課題】

・主に研究・調査の場面で図書館が利用され、自校蔵書やICT機器が活用されていることがわかった。

・他館からの資料の取り寄せやレファレンスも活用されているが、活発に使われていない資料や設備、サービスがあることもわかった。

・授業の事前打ち合わせを行ったのは回答の半数以下であり、探究について検討する分掌等に図書館に関わる教員や司書が所属していない学校は大多数であった。
「活動の全体像」を図書館側が把握できていなかったり、「レクチャーを行ったものの活かされなかった」という回答などから、授業の目的・図書館利用の目的を両者が互いに把握し、計画的な探究授業を行うために、打ち合わせや情報共有を行える場があることが望ましい。

総合的な探究の時間に関するアンケートについて

<u>目的</u>
総合的な探究の時間における学校図書館の利用や活用方法について把握し、今後の研修等の事業に活用する

<u>調査の概要</u>
実施時期　2020年8月～9月
調査方法　依頼文書をメールで送付。回答はアンケートフォームに入力
対象　　岡山県内高等学校
回答数　　43校